

平成24年度 一般会計 決算報告

平成24年度一般会計決算は、前年度と比較して歳入総額で0.2%、歳出総額で0.3%の増加となりました。平成24年度は、市税の減少や社会保障関係費が高額で推移するなど厳しい面がありましたが、紀伊半島大水害の復旧復興事業を含め、消防庁舎及びし尿処理施設の建設、防災対策、地域公共交通の充実など、安心・安全の確保や暮らしを支えるための事業に鋭意取り組むとともに、ムダを無くした効率的な事務事業の実施等に努めました。実質収支は、前年度からの繰越金が大きかったことなどから、11億8,760万円の黒字決算となり、将来の安定的な財政運営に資するためこのうち5億円を財政調整基金に積み立てました。

本市の財政状況については、行財政改革による歳出削減や、国の補助金など有利な財源の活用等により、本市の財政指標は総じて改善に向いつつあります。しかし、市税等の自主財源の割合が低く地方交付税など国の財源措置の影響を大きく受ける財政体質であることや、市債（借入金）の残高が類似団体等と比べてもまだ高く公債費等の将来負担が大きいこと等に留意する必要がある、財政健全化を確かなものにしていくため、引き続き行財政改革に取り組んでいくことが必要です。

今後も「誰もが住んでよかったと思える、魅力と活力のあるまちづくり」推進のため、将来を見据え、一層効率的で効果的な行財政運営に取り組んでいきます。

[単位：千円]

| 平成24年度 | 歳入総額 | 歳出総額 | 差引 | 翌年度繰越財源 | 実質収支 |
|--------|------------|------------|-----------|---------|-----------|
| 一般会計 | 19,111,079 | 17,799,497 | 1,311,582 | 123,983 | 1,187,599 |

【歳入の内訳】

[単位：千円]

| | 平成24年度 | 平成23年度 | 平成22年度 |
|----------|------------|------------|------------|
| 市税 | 3,374,500 | 3,488,279 | 3,406,181 |
| 繰入金 | 3,164 | 3,192 | 49,366 |
| 繰越金 | 1,323,581 | 1,348,732 | 912,941 |
| 分担金及び負担金 | 460,531 | 502,220 | 589,767 |
| 使用料及び手数料 | 347,593 | 343,511 | 356,312 |
| 諸収入等 | 213,094 | 256,907 | 610,387 |
| 地方交付税 | 7,952,232 | 8,063,042 | 7,959,357 |
| 交付金等 | 636,816 | 706,306 | 744,956 |
| 国庫支出金 | 1,808,001 | 1,778,935 | 2,177,602 |
| 県支出金 | 1,137,367 | 1,192,635 | 1,213,631 |
| 市債 | 1,854,200 | 1,385,700 | 1,725,000 |
| 計 | 19,111,079 | 19,069,459 | 19,745,500 |

【歳出の内訳】

[単位：千円]

| | 平成24年度 | 平成23年度 | 平成22年度 |
|-------|------------|------------|------------|
| 議会費 | 187,690 | 208,319 | 165,826 |
| 総務費 | 2,254,140 | 2,052,715 | 3,366,852 |
| 民生費 | 4,814,941 | 5,079,208 | 4,702,600 |
| 衛生費 | 1,834,605 | 1,748,327 | 1,609,100 |
| 農林業費 | 756,812 | 686,445 | 758,259 |
| 商工費 | 214,945 | 159,918 | 220,999 |
| 土木費 | 1,469,714 | 1,506,467 | 1,305,458 |
| 消防費 | 1,211,311 | 953,442 | 862,308 |
| 教育費 | 1,643,099 | 1,800,333 | 1,584,497 |
| 公債費 | 3,296,403 | 3,470,171 | 3,739,011 |
| 災害復旧費 | 115,837 | 80,532 | 81,858 |
| 計 | 17,799,497 | 17,745,877 | 18,396,768 |

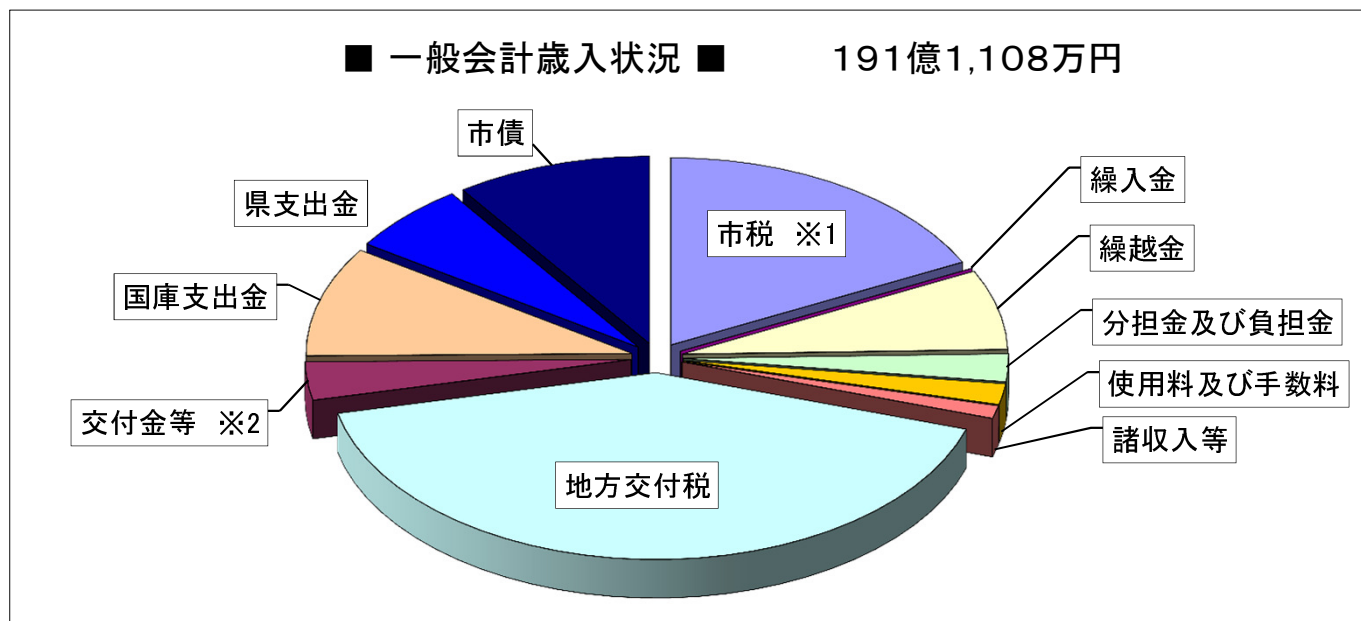


■ 一般会計歳入状況 ■

191億1,108万円

前年度と比較して、総額で0.2%の増加となりました。自主財源では、市税が評価替えによる固定資産税の減収などにより前年度に比べ1億1,378万円、3.3%減少しました。分担金及び負担金、諸収入等については、特別な収入があった前年度に比べ大幅に減少しました。依存財源については、前年度は紀伊半島大水害に係る経費支出に伴い大きかった特別交付税が減少したことから地方交付税が1億1,081万円、1.4%減少しました。一方、合併特例事業である消防庁舎及びし尿処理施設の建設が開始されたことなどから、市債の借入額が4億6,850万円、33.8%増加しました。

| | 決算額 | 構成比 | (参考 前年度) | 財源区分 | 財源区分別決算額 | 構成比 |
|----------|-------------|-------|---------------|------|-------------|-------|
| 市税 ※1 | 33億7,450万円 | 17.7% | (34億8,828万円) | 自主財源 | 57億2,246万円 | 29.9% |
| 繰入金 | 316万円 | 0.0% | (319万円) | | | |
| 繰越金 | 13億2,358万円 | 6.9% | (13億4,873万円) | | | |
| 分担金及び負担金 | 4億6,053万円 | 2.4% | (5億 222万円) | | | |
| 使用料及び手数料 | 3億4,759万円 | 1.8% | (3億4,351万円) | | | |
| 諸収入等 | 2億1,310万円 | 1.1% | (2億5,691万円) | | | |
| 地方交付税 | 79億5,223万円 | 41.6% | (80億6,304万円) | 依存財源 | 133億8,862万円 | 70.1% |
| 交付金等 ※2 | 6億3,682万円 | 3.3% | (7億 631万円) | | | |
| 国庫支出金 | 18億 800万円 | 9.5% | (17億7,894万円) | | | |
| 県支出金 | 11億3,737万円 | 6.0% | (11億9,263万円) | | | |
| 市債 | 18億5,420万円 | 9.7% | (13億8,570万円) | | | |
| 計 | 191億1,108万円 | 100% | (190億6,946万円) | | 191億1,108万円 | 100% |



※2 交付金等の内訳

| | 決算額 | 構成比 |
|-------------|-----------|--------|
| 株式等譲渡所得割交付金 | 325万円 | 0.51% |
| 交通安全対策特別交付金 | 584万円 | 0.92% |
| 利子割交付金 | 1,169万円 | 1.84% |
| 地方特例交付金 | 1,284万円 | 2.01% |
| 配当割交付金 | 1,339万円 | 2.10% |
| ゴルフ場利用税交付金 | 4,344万円 | 6.82% |
| 自動車取得税交付金 | 6,494万円 | 10.20% |
| 地方譲与税 | 1億9,988万円 | 31.39% |
| 地方消費税交付金 | 2億8,155万円 | 44.21% |
| 交付金等合計 | 6億3,682万円 | 100.0% |

※1 市税の内訳

| | 決算額 | 構成比 |
|-------|------------|--------|
| 市民税 | 14億4,533万円 | 42.8% |
| 固定資産税 | 15億2,713万円 | 45.3% |
| 軽自動車税 | 9,163万円 | 2.7% |
| 市たばこ税 | 1億8,189万円 | 5.4% |
| 都市計画税 | 1億2,852万円 | 3.8% |
| 市税合計 | 33億7,450万円 | 100.0% |

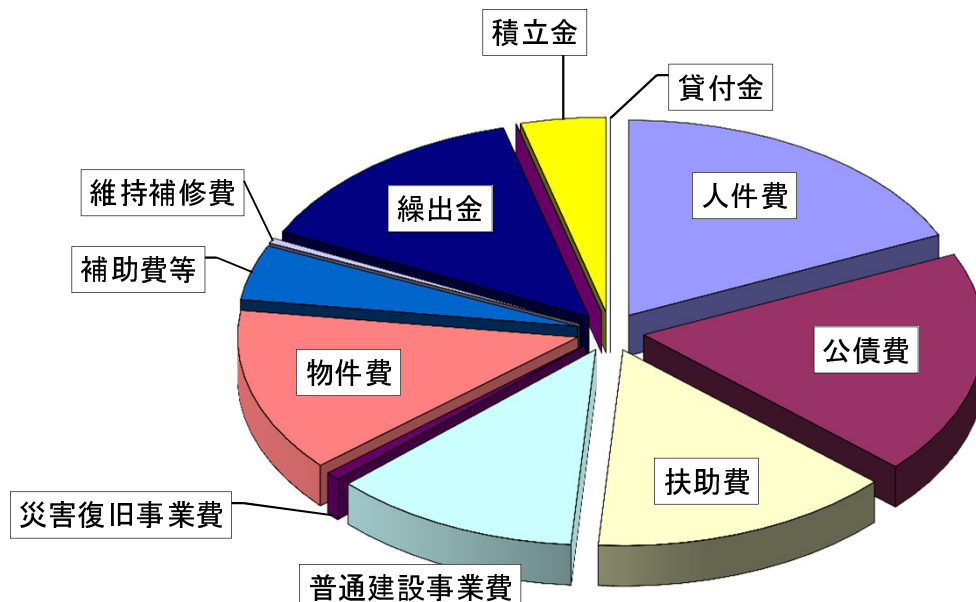
◎市税のうち、目的税である都市計画税は、公園の運営・整備、計画的なまちづくり推進などの都市計画事業に要する経費に充てられています。

■ 一般会計歳出状況（性質別） ■ 177億9,950万円

前年度と比較して、総額で0.3%の増加となりました。義務的経費では、人件費が職員退職手当の減少等により前年度より6億7,561万円、17.2%減少したほか、公債費は市債借入抑制の効果や大規模事業分市債の償還終了などにより元金・利子とも減り、1億7,376万円、5.0%減少しました。投資的経費では、消防庁舎及びし尿処理施設の建設開始により普通建設事業費が3億8,515万円、22.5%増加、災害復旧事業費は紀伊半島大水害復旧事業の実施とともに平成24年梅雨前線豪雨災害の復旧事業も加わったため、4,215万円、52.3%増加しました。消費的経費では、補助費等が広域ごみ処理施設整備関連負担金の支出などにより1億7,698万円、27.9%増加しました。その他の経費では、財政調整基金に5億円、職員退職手当基金に2億円を積み立てたことから、積立金が6億6,23万円の大幅増となりました。

| 性質別 | 決算額 | 構成比 | (参考 前年度) | 経費区分 | 経費区分別決算額 | 構成比 |
|---------|-------------|-------|---------------|--------|-------------|-------|
| 人件費 | 32億4,738万円 | 18.2% | (39億2,298万円) | 義務的経費 | 91億 656万円 | 51.1% |
| 公債費 | 32億9,640万円 | 18.5% | (34億7,017万円) | | | |
| 扶助費 | 25億6,278万円 | 14.4% | (25億8,184万円) | | | |
| 普通建設事業費 | 20億9,906万円 | 11.8% | (17億1,391万円) | 投資的経費 | 22億2,174万円 | 12.5% |
| 災害復旧事業費 | 1億2,268万円 | 0.7% | (8,053万円) | | | |
| 物件費 | 24億1,254万円 | 13.6% | (24億4,219万円) | 消費的経費 | 33億 40万円 | 18.6% |
| 補助費等 | 8億1,102万円 | 4.6% | (6億3,404万円) | | | |
| 維持補修費 | 7,684万円 | 0.4% | (8,694万円) | | | |
| 繰出金 | 24億5,018万円 | 13.8% | (24億8,887万円) | その他の経費 | 31億7,080万円 | 17.8% |
| 投資及び出資金 | — | 0.0% | (2億6,955万円) | | | |
| 積立金 | 7億2,002万円 | 4.0% | (5,379万円) | | | |
| 貸付金 | 60万円 | 0.0% | (107万円) | | | |
| 計 | 177億9,950万円 | 100% | (177億4,588万円) | | 177億9,950万円 | 100% |

■ 一般会計歳出状況（性質別） ■ 177億9,950万円



■ 主な財政指標 ■

| 指標名 | | 平成24年度 | 平成23年度 | 平成22年度 |
|------------|------|------------|------------|------------|
| 財政力指数 | 3年平均 | 0.346 | 0.351 | 0.363 |
| | 単年度 | 0.351 | 0.347 | 0.339 |
| 標準財政規模(千円) | | 11,261,770 | 11,208,117 | 11,559,346 |
| 経常収支比率(%) | | 91.7 | 93.2 | 86.3 |
| 実質収支比率(%) | | 10.6 | 10.7 | 9.1 |
| 公債費比率(%) | | 17.9 | 20.0 | 17.6 |
| 起債制限比率(%) | 3年平均 | 13.8 | 14.2 | 14.8 |
| | 単年度 | 13.2 | 15.4 | 12.8 |

◆ 用語説明 ◆

【財政力指数】

市の財政力を示す指標です。1に近い、あるいは1を超えるほど、財政的に豊かであると言えます。また、1を超えた場合は地方交付税の不交付団体となります。

【標準財政規模】

市町村の標準的に収入しうる一般財源（用途が特定されない収入）の大きさを示す指標です。実質収支比率や、起債制限比率などの基本的な財政指標等の分母となる重要な数値です。

【経常収支比率】

経常的な歳入（市税、地方交付税等）が、経常的な歳出（人件費、扶助費、公債費等）にどれだけ使われているかを示す指標です。市町村の財政運営の弾力性を示す指標で、一般的に市レベルでは75～80%程度が望ましいとされており、数値が高くなるほど財源の余裕が少なく財政運営が厳しい状態であると言えます。

【実質収支比率】

標準財政規模に対する実質収支額（歳入歳出決算差引額から翌年度へ繰り越すべき財源を除いた額）の割合で、実質収支が黒字の場合は正数で、赤字の場合は負数で表されます。一般的には3～5%程度が望ましいとされています。

【公債費比率】

市債の元利償還金（公債費）の一般財源に占める比率を示す指標です。一般的に10%を超えないことが望ましいとされています。

【起債制限比率】

標準財政規模に対する公債費の占める比率の過去3年間の平均を示す指標で、公債費に充当する特定財源や地方交付税により措置される財源等を除いて算出します。実質公債費比率（※「健全化判断比率について」参照）導入以前（平成17年度以前）においては、地方債の過度の発行を抑制する為の指標として用いられ、20%以上になると一部の地方債の借入が制限されました。

■ 他会計決算状況 ■

○ 会計別 平成24年度決算状況

[単位：千円]

| 会計名 | | 収入済額 | 支出済額 | 差引 | 翌年度繰越財源 | 実質収支 |
|------|----------|------------|------------|-----------|---------|-----------|
| 一般会計 | | 19,111,079 | 17,799,497 | 1,311,582 | 123,983 | 1,187,599 |
| 特別会計 | 国民健康保険 | 4,582,002 | 4,432,926 | 149,076 | 0 | 149,076 |
| | 簡易水道 | 540,401 | 538,684 | 1,717 | 0 | 1,717 |
| | 下水道事業 | 1,073,901 | 1,072,839 | 1,062 | 1,062 | 0 |
| | 墓地事業 | 2,738 | 2,153 | 585 | 0 | 585 |
| | 介護保険 | 3,405,850 | 3,390,608 | 15,242 | 0 | 15,242 |
| | 大塔診療所 | 59,221 | 51,361 | 7,860 | 0 | 7,860 |
| | 農業集落排水事業 | 4,675 | 3,982 | 693 | 0 | 693 |
| | 後期高齢者医療 | 423,567 | 417,604 | 5,963 | 0 | 5,963 |
| | 小計 | 10,092,355 | 9,910,157 | 182,198 | 1,062 | 181,136 |
| 合計 | | 29,203,434 | 27,709,654 | 1,493,780 | 125,045 | 1,368,735 |

○ 公営企業会計 平成24年度決算

[単位：千円]

| | | | |
|--------|-------|----|---------|
| 水道事業会計 | 収益的収支 | 収入 | 709,874 |
| | | 支出 | 678,228 |
| | 資本的収支 | 収入 | 293,883 |
| | | 支出 | 604,114 |



◆ 用語説明 ◆

【一般会計】

市の行政運営の基本的な経費を計上した会計です。

【特別会計】

市が特定の事業を行うために、一般会計と区分して経理する会計です。

【実質収支】

歳入決算額から歳出決算額を差し引き、さらに翌年度に繰り越すべき財源を控除したものです。

【収益的収入と支出】

企業の経営活動により発生する収益とそれに対応する費用です。

【資本的収入と支出】

企業の将来の経営活動に備えて行う建設改良事業費や、そのために必要な企業債償還金などの支出とその財源となる収入です。

■ 主な基金の状況 ■

基金とは、特定の目的のために資金を積み立てたり、定額の資金を運用するために設けられる資金等のことで、五條市の持っている貯金と言えます。

[単位：千円]

| 基金名 | 平成24年度末 | 平成23年度末 | 平成24年度中増減額 |
|---------------------|-----------|-----------|------------|
| 財政調整基金 | 1,744,298 | 1,244,298 | 500,000 |
| 減債基金 | 445,870 | 443,870 | 2,000 |
| 特定目的基金（地域振興基金など8基金） | 2,261,434 | 2,043,418 | 218,016 |
| 合計 | 4,451,602 | 3,731,586 | 720,016 |

- ・ 財政調整基金

地方公共団体における年度間の財源の不均衡を調整するための基金。財源が著しく不足するときや、災害により生じた経費や災害による減収をうめるための財源に充てるとき、また地方債を繰上償還するときなどに使用することが出来る。
- ・ 減債基金

地方公共団体の歳入の増減に関係なく支出しなければならない義務的な経費である公債費の償還を計画的に行うために積み立てた基金。市債または借入金の償還に使用することができる。
- ・ 特定目的基金

福祉や教育など、特定の目的のために積み立てられる基金です。五條市では、地域振興基金、保健・医療支援基金、文化財保存基金など、8つの特定目的基金を積み立てています。

■ 市債残高状況 ■

市債とは、簡単に言うと五條市の借金のことです。臨時的に多額の出費が生じる事業を行うときや後年にわたり便益を提供でき、後世代にも負担を分かち事がかえって公平と考えられる事業を行う場合に市債を用いることとなります。しかし、市債はあくまでも借金であるため、市債を用い過ぎると後年度にわたって市民の皆さんに多額の負担を強いることになってしまうので、起債の目的、限度額、起債の方法、利率、償還の方法などを予算で定めなければならないことになっています。

[単位：千円]

| 会計名 | 平成24年度末 | 平成23年度末 | 平成24年度中増減額 |
|--------------|------------|------------|-------------|
| 一般会計 | 25,395,733 | 26,432,118 | △ 1,036,385 |
| 簡易水道特別会計 | 2,365,086 | 2,437,811 | △ 72,725 |
| 下水道事業特別会計 | 8,766,323 | 9,229,409 | △ 463,086 |
| 大塔診療所特別会計 | 7,825 | 1,185 | 6,640 |
| 農業集落排水事業特別会計 | 24,207 | 26,296 | △ 2,089 |
| 水道事業会計 | 1,604,933 | 1,725,515 | △ 120,582 |
| 合計 | 38,164,107 | 39,852,334 | △ 1,688,227 |